

【コーラス活動をとらえて】

天野 行

私は、教職にあった頃から、子どものコーラスやPTAコーラスを指導しておりました。職を退いてからも、次の三つの団体を指導しています。東桂地区の「ビリーヴ」団員数十一名、練習日は木曜日、会場は東桂地域コミュニティセンター。東桂小学校PTAコーラスが前身。田野倉地区の「コールド大輪」団員数十八名、練習日は金曜日、会場は田野倉公民館。歌う意欲旺盛な団体。上野原町の「上野原土曜合唱団（混声）」団員数三十八名、練習日は土曜日、会場は上野原商工会館。概して団員の能力は高い。コーラスの指導で私が留意していることは、楽しくのびのびと歌うということです。そのためにも歌う曲目は、なるべく親しみやすい曲を選び、楽しく練習ができるよう心掛けています。

コーラスの良いところは、そんなに歌の上手な人でなくても、自分のパートをしっかり練習して歌えば、ハーモニーの充実感が味わえるということです。また、深く息を吸い、思い切り歌うことによつて血のめぐりが良くなり、ストレスも発散しますので心身のリフレッシュに有効です。

各合唱団は、春と秋の発表大会に出場することを目標として練習に励んでいます。春の大会は、五月の母の日に行われる「郡内おかささんコーラス大会」で、南北都留地区一帯から三十数団体参加します。来年は、都留市のうぐいすホールで開催することになっていきます。秋の大会は、「都留市合唱祭」で、都留市文化祭の一環として開催されます。（今年十月二十日の予定）なお、上野原町では独自に発表会を行います。

これらの発表会への参加は、日頃の練習の成果を披露する絶好の機会となります。また、団員相互の音楽的、人間的な交流の場ともなります。以上、私のささやかなコーラス活動の一端を述べさせて頂きました。



コールド大輪の皆さん



生涯学習通信 生涯学習推進会議

のびのび いきいき 生涯学習

『わたしの生涯学習』



【さつき盆栽に魅せられて】

小野瀬 健次

二十数年程前、義父から数鉢の「さつき」を引き継いで育て、毎年美しい花を楽しんできました。五年程前でしたか、「都留さつき愛好会」の展示会を見る機会があり、見事な作品の数々に接し大変感動致しました。

私の所有している「さつき」と違って、一鉢一鉢の樹形、花の咲き方、最新の品種など、多種多様な作品に感激し、初歩から勉強する必要があると気付き、入会をお願いし仲間に入れて頂きました。翌年の展示会に、私も三鉢ほど出展する義務が与えられました。しかし、先輩方の作品と比較してあまりにも差があり、出展するのが恥ずかしい思いでした。展示の合間、先輩方に私の「さつき」を見て頂き、ご指導を願ったところ大改造の必要ありで、まず、整枝、剪定の方法をはじめ日常の手入れについても、水やり、消毒、加肥、剪定、針金かけなど細部にわたりご指導を頂き大変参考になりました。

「さつき」には種類により花物と盆栽物に向くものがあり、樹形をつくる重要なポイントとなります。また、開花時期により早咲き、中咲き、遅咲き種があり、展示会に合わせて開花させるために大変な苦労があります。

「さつき」の魅力は何と言っても、開花時の花の変化と樹の姿ではないでしょうか。一本の樹に赤、白、紫、底白、絞りなどさまざまな花が咲き、見る人の心を打つものがあります。

また、盆栽物としては、松柏類に匹敵する名木があり、私も先輩方の樹造りを手本に「さつき」盆栽づくりに挑戦しています。

これからも、市民の皆様にご感動して頂けるような「さつき」づくりを生涯学習として頑張りたいと思います。

